

平成 2 1 年度事業報告

昨年 8 月 3 0 日投票の衆議院選挙の結果、当協会設立の年でもある昭和 3 0 年の結党以来一貫して議会第 1 党の座にあった自由民主党が記録的な敗北を喫し、民主党が過半数を得て与野党逆転による政権交代が実現しました。

これを受けて発足した鳩山由紀夫連立政権は、選挙マニフェストに掲げた目標と現実の政策実行上の矛盾に直面し、政治・行政の混迷は社会・経済に様々な影響を及ぼしながら現在に至っています。

また、一昨年のサブプライムローン問題を端緒とする米国発の金融危機は全世界に波及し、世界経済は深刻な不況に置かれ続けております。世界同時不況は輸出依存体質の我が国経済を直撃し、生産活動が大幅に縮小し、企業倒産・雇用不安・所得下落・セーフティネットの不備などの多くの社会問題が未解決のまま残されております。

我が国社会は、小泉政権以来の構造改革路線によって産業間・地域間の格差が拡大しており、地域密着型産業である地方建設業は公共事業抑制策で大きな痛手を被り、「負け組」産業の象徴的業種と見なされてきました。また地方自治体は「財政再建団体」への転落回避を最優先課題とせざるを得ない状況に置かれています。

こうした危機的な経済状況に対し、構造改革路線を一次棚上げし、景気回復を最優先する財政政策が、昨年前半に自民党前政権により実施されました。

過去最大規模の 2 0 年度補正予算と景気回復策を主眼とした 2 1 年度予算の執行による効果がようやく感じられた段階での、政権交代による混乱は、公共事業依存割合の高い地方の経済に大きな不安を与えております。地域格差と景気後退の影響に直面する東北地方の自治体は、国の景気対策効果を実感できないまま、新しい政策方針への対応を余儀なくされております。

青森県も生活基盤整備と経済活性化のため公共事業量を確保に努めると同時に、徹底した歳出削減により財政再建を図るといった綱渡り的な行財政運営を余儀なくされています。

しかし、新政権の「コンクリートから人へ」という政策転換がもたらす財源の先細りは、他の自治体においても避けられず、今後とも県内の公共事業予算の回復は期待できない状況が続くものと思われまます。

本県の建設業界は、供給過剰構造に基づく過当競争が経営を直撃し、受注の減少、採算の悪化、不良債権の発生を起因とする「不況型倒産」が後を絶ちません。建設業界の「冬の時代」は深刻化し、企業の廃業・倒産に歯止めがかからない状況が危惧されます。

一方、過当競争の蔓延により、著しい低価格で落札するダンピング受注があらゆる工事に広がりました。原価を下まわるようなダンピング受注は、「経営悪化 賃金低下 技能者不足 品質低下」という悪循環を引き起こすため、国交省はダンピング防止対策を強化

しておりますが具体的な成果は現れておりません。

加えて、ジャーナリズムには建設業界に対する偏った捉え方が根強く残っており、一般競争のみが望ましい方式で、落札率のみが競争の指標だとする風潮が蔓延しております。

一方、いわゆる品確法に基づく「総合評価方式」の入札が、金額のみが決定条件であった従来の入札に代って一般化しつつあります。本県においても対象工事が拡大されてきました。

総合評価方式においては、C P D S等が技術的評価として採用されるとともに、「大規模災害時応急対策業務協定」等の社会性の指標も評価対象とされております。

当協会は青森県当局に対し、ダンピングを排除し、企業の技術力・社会性が適切に評価されるような制度の構築を強く要望し、当県建設業界の現状が理解され反映されるよう務めてきたところです。建設業が地域に根ざした社会資本整備の担い手として信頼されるために、こうした制度的な変革には今後とも業界として対応を図る必要があります。

当協会は、(社)全国建設業協会、東北建設業協会連合会、地方経済団体等と歩調を合わせ、公共投資の必要性和東北地方に対する重点的予算の配分を、関係当局に対する要望や国会議員との懇談会を通じて訴えてまいりました。

また、発注当局との意見交換会の場を多く確保して、県内企業の受注機会の確保と入札契約における運用の改善、ダンピング受注の是正、不良不適格業者排除問題等を強く要望してまいりました。

7月15日開催の「フォーラム - 東北は訴える!」、10月29日の全国建設業協会「地域懇談会・東北ブロック会議」等に参加し、公共事業の着実な実施と平成22年度公共事業予算の東北地方への重点配分、公共投資による雇用の確保、社会資本の整備、防災対策の推進等の事項について地方の声を強くアピールいたしました。

また当協会は、会員企業限定の補償制度として第三者賠償責任補償保険を実施し、会員企業評価の向上を図るとともに、建設業退職金共済事業、(財)建設業福祉共済団の法定外労災補償制度を取り扱うなど、建設業界の経営安定のための事業を受託し、実施してまいりました。

同時に、こうした制度を導入している企業が入札参加資格審査等で適正に評価されるよう、県土整備部に対して要望を行ってまいりました。

さらに本年度から、「地域建設業経営強化融資事業」に基づく転貸融資制度の運用を開始いたしました。本年度は会員8社の申請に対し総額2億5千万円余の融資を実施いたしました。なお、工事代金の受領によりこれらの融資は現在すべて返済されております。

国土交通省の実施する「建設業と地域の元気回復助成事業」についても、当協会が本県内で採択された4事業すべての事業管理者となり、合計で9千5百万円弱の事業を執行中です。

また、本年度中に(財)建設業福祉共済団および東日本建設業保証(株)から、青森県建設会館の改修工事に対する助成申請が認められたため、補正予算を編成し、老朽化した昇降設備・給水設備等の改修工事を実施いたしました。工事費は総額で2千百万円余りとなり、助成金合計1千4百72万円の不足額を(株)青森県建設会館と分担いたしました。

その他当協会が、平成21年度中に執行した業務の活動状況は以下のとおりです。

1 . 総 会

日 時 平成 2 1 年 5 月 2 0 日 (水) 午後 3 時 3 0 分

場 所 青森国際ホテル (青森市新町一丁目 6 番 1 8 号)

内 容 平成 2 0 年度事業報告並びに同収支決算の承認に関する件 (監査報告)
平成 2 1 年度事業計画 (案) 並びに同収支予算 (案) の承認に関する件
退会員の報告

2 . 常任理事会 等

第 1 回常任理事会	4 月 1 0 日	青森市
第 2 回常任理事会	5 月 8 日	青森市
第 3 回常任理事会	7 月 2 日	青森市
第 4 回常任理事会	8 月 5 日	青森市
第 5 回常任理事会	1 2 月 2 1 日	青森市
第 6 回常任理事会	2 月 1 5 日	青森市
第 7 回常任理事会	3 月 2 5 日	青森市
第 1 回支部長会議	3 月 1 5 日	青森市
正副会長会議	1 0 月 8 日	青森市

3 . 理 事 会

第 1 回理事会	5 月 8 日	青森市
第 2 回理事会	7 月 1 4 日付	(書面議決)
第 3 回理事会	1 2 月 2 2 日付	(書面議決)
第 4 回理事会	2 月 1 6 日付	(書面議決)
第 5 回理事会	3 月 2 5 日	青森市

4 . 監 事 会

決算監査会	4 月 2 4 日	青森市
中間監査会	1 1 月 1 8 日	青森市

5 . 委員会、部会

4 月 1 4 日	技術委員会
5 月 7 日	「建設業と地域の元気回復助成事業」審査委員会
2 2 日	青年部会幹事会
7 月 2 日	原燃サイクル特別委員会
3 0 日	青年部会幹事会

- 8月26日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会
- 9月11日 「建設業と地域の元気回復助成事業」審査委員会
- 15日 公益法人制度検討委員会ワーキンググループ会議
- 10月21日 技術委員会、経営労務委員会合同会議
- 11月 4日 青年部会幹事会
- 16日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会
- 12月16日 技術・経営労務委員幹事会
- 22日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会
- 1月19日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会
- 19日 公益法人制度検討委員会ワーキンググループ会議
- 22日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会
- 26日 公益法人制度検討委員会
- 2月16日 青年部会幹事会
- 3月 4日 「地域建設業経営強化融資事業」技術委員会工事査定部会

6 . その他行事

全国・ブロック組織関係

- 4月 8日 東北建設業協会連合会ブロック会長会議 (仙台)
- 5月19日 東北建設業協会連合会情報共有普及推進東北6県協議会(仮称)
設立準備委員会 (仙台)
- 29日 全国建設業協会総会 (東京)
- 6月 1日 東北建設業協会連合会総会 (仙台)
- 23日 「国土交通白書」説明会 (仙台)
- 24日 東北地方整備局工事情報共有システム研究会 (仙台)
- 25日 東北建設業協会連合会専務理事会議 (仙台)
- 7月15日 「フォーラム：東北は訴える！」 - インフラ整備これでいいのか -
(東北における社会資本整備の推進について)
(公共事業の東北地方への重点配分について) (仙台)
- 15日 東北建設業協会連合会会長会議 (仙台)
- 24日 全国建設業協会人材確保対策委員会 (東京)
- 28日 「フォーラム：東北は訴える！」決議要望活動 (東京)
- 29日 全国建設業協会社会貢献活動推進月間中央行事 (東京)
- 8月27日 東北地方整備局工事情報共有システム研究会 (仙台)
- 27日 東北建設業協会連合会 BCP 策定講習会 (仙台)
- 28日 全国建設業協会除雪業務に関する検討 WG (東京)

9月	2日	全国建設業協会土木委員会	(東京)
	8日	日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム	(酒田)
	9日	東北建設業協会連合会専務理事会議	(仙台)
	16日	全国建設業協会臨時総会・評議員会	(東京)
10月	1日	東北建設業協会連合会ブロック会長会議	(仙台)
	1日	東北地方整備局建設事業システム検討委員会	(仙台)
	13日	東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY2009)幹事会	(仙台)
	29日	全国建設業協会地域懇談会・東北ブロック会議	(郡山)
11月	11日	東北建設業協会連合会専務理事会議	(仙台)
	11日	東北地方工事安全施工推進大会(SAFETY2009)	(仙台)
	26日	全国建設業協会評議員会	(東京)
	27日	全国建設業協会「技術研究発表会」	(東京)
12月	1日	安全・安心の道づくりの実現を求める全国総決起大会	(東京)
	9日	全国建設業協会除雪業務に関する検討WG	(東京)
	10日	東北地方整備局工事情報共有システム研究会	(仙台)
	17日	全国建設産業団体連合会専門工事業部会	(東京)
1月	20日	全国建設産業団体連合会理事会及び評議員会	(東京)
	21日	全国建設業協会評議員会	(東京)
2月	10日	全国建設業協会除雪業務に関する検討WG	(東京)
	19日	全国建設業協会土木技術の維持向上に関する検討会	(東京)
	25日	東北建設業協会連合会専務理事会議	(仙台)
3月	2日	東北建設業協会連合会ASP担当者・事務担当者会議	(仙台)
	9日	東北建設業協会連合会専務理事会議	(仙台)
	11日	全国建設業協会土木委員会	(東京)
	18日	東北地方建設産業再生協議会	(仙台)
	29日	全国建設業協会専務・事務局長会議	(東京)

要望・意見交換活動

4月	1日	青森県新県土整備部長表敬活動	(青森)
	10日	日本原燃(株)との意見交換会	(青森)
	30日	地域建設業に関する意見交換会	(青森)
5月	11日	「地方の元気回対話交流会」	(青森)
	29日	(財)建設業振興基金との協議	(青森)
6月	15日	青森県建設業協会による知事要望	(青森)
	28日	「広域地方計画」・「社会資本の重点整備方針」説明会	(青森)

7月	2日	東北地方整備局青森河川国道事務所への要望	(青森)
	23日	東北地方整備局津軽ダム工事事務所長への表敬訪問	(青森)
8月	4日	青森県建設業協会による副知事要望	(青森)
	28日	日本原燃(株)との意見交換会	(青森)
9月	15日	東日本建設業保証株式会社小野社長就任に伴う協会訪問	(青森)
10月	13日	岩木川緊急対策シミュレーション検討会	(青森)
	23日	新幹線建設工事に係る要望活動	(東京)
11月	9日	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社・秋田支社に対する要望活動	
	12日	東日本建設業保証株式会社役員との意見交換	(青森)
	17日	東日本旅客鉄道株式会社本社に対する要望活動	(東京)
	24日	北海道旅客鉄道株式会社函館支社に対する要望活動	(函館)
12月	9日	北海道旅客鉄道株式会社本社に対する要望活動	(札幌)
2月	16日	青森県県土整備部長と建設業協会青年部会の意見交換会	(青森)
	22日	青森県県土整備部長に対する要望	(青森)
3月	15日	民主党・自由民主党に対する要望	(青森)
	24日	県土整備部意見交換会	(青森)
	25日	青森県知事要望	(青森)

受託事業等

4月	4日	監理技術者講習(土木施工管理技士会)	(青森)
	8日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	10日	建設業経理検定実施計画説明会	(東京)
	16・17日	建退共支部加入履行促進担当者会議	(東京)
	27日	「経済危機対策」に係わる説明会	(青森)
5月	13日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	14日	日本アスファルト合材協会通常総会	(東京)
	15日	青森県土木施工管理技士会代議員会	(青森)
	20日	(株)青森県建設会館株主総会	(青森)
	21日	青森県建設産業団体連絡協議会総会	(青森)
	25日	全国土木施工管理技士会連合会通常総会・表彰式・講演会	(東京)
	26日	青森県アスファルト合材協会定期総会	(青森)
	27日	建設産業人材確保・育成推進協議会全国会議	(東京)
	29～	6月 9日 建設事業主雇用改善助成金等説明会	(各支部)
6月	10日	アスファルト合材協会東北連合会通常総会	(仙台)
	16日	建設業振興基金参与会	(東京)

6月	16日	全国建設産業団体連合会総会	(東京)
	17日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	23日	全国土木施工管理技士会連合会事務局長会議	(東京)
	24日	建設労働者雇用安定支援事業に関する事務担当者研修会	(東京)
	24日	青森県建設専門工事業団体連合会との意見交換会	(青森)
	30日	建設業退職金共済事業評議員会	(東京)
7月	2日	建設業福祉共済団全国事務担当者会議	(東京)
	6日	建設業と地域の元気回復助成事業選定事業者説明会	(東京)
	6～8日	県立青森工業高校現場実習	
	7日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	10日	青森地区工事情報化システム研究会	(青森)
	15～16日	日本アスファルト合材協会安全環境衛生パトロール	(八戸)
	17日	青森県雇用改善推進委員会	(青森)
	24日	全国建設産業団体連合会広報・構造改善対策委員会合同会議	(東京)
	31日	東北土木施工管理技士会連合会通常総会	(仙台)
8月	27日	青森県建設産業・伊藤忠商事ニュービジネス開発WS	(大間)
9月	1日	前払金保証制度要望活動	(今別)
	1～3日	県立弘前工業高校 現場実習	
	2～4日	県立十和田工業高校 現場実習	
	2～3日	建設業経理事務士4級特別研修	(青森)
	5日	監理技術者講習(土木施工管理技士会)	(青森)
	8日	三方良しの公共事業改革 in 青森	(青森)
	8～10日	県立八戸業高校・南部工業高校・むつ工業高校 現場実習	
	10・18日	直営雇用管理者研修(建退共制度)	
	13日	建設業経理士検定試験(1級・2級)	(青森)
	16日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	17日	工事情報システム共有化講習会	(青森)
	24日	前払金保証制度要望活動	(平川・黒石)
	28・29日	全国府県建設産業団体連合会会長会議	(松江)
10月	1日	漁場・地球環境再生協議会(元気回復事業)	(青森)
	1日	メタノール利活用推進協議会(元気回復事業)	(青森)
	7～9日	建設業経理事務士3級特別研修	(青森)
	19日	前払金保証制度要望活動	(五所川原)
	20日	建設業福祉共済団加入促進事業所訪問	(中弘・南黒支部)
	22日	高校生現場見学会(弘前工業高校)	
	21日	建設業福祉共済団加入促進事業所訪問	(中弘・南黒支部)

10月	29日	漁場・地球環境再生協議会視察(元氣回復事業)	(鹿児島)
11月	4日	前払金保証制度要望活動	(弘前)
	4日	全国建設労働問題連絡協議会	(東京)
	5日	高校生現場見学会(十和田工業高校・南部工業高校)	
	5日	建設雇用改善推進全国会議・建設雇用改善推進月間中央行事	(東京)
	5日	(財)建設業振興基金来館協議	(青森)
	12日	青森県建設雇用改善推進大会	(青森)
	13日	保証事業青森協議会定例会	(青森)
	13日	青森地区工事情報共有システム研究会	(青森)
	16日	前払金保証制度要望活動	(十和田)
	17日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	19日	青森県土木施工管理技士会主催講習会	(青森)
	20日	高校生現場見学会(五所川原農林高校)	
	19~20日	メタノール利活用推進協議会視察(元氣回復事業)	(長崎)
	19~20日	建退共北海道東北ブロック加入・履行促進支部事務担当者会議	(会津若松)
	27日	若年建設従事者指導者育成研修会(総務・経理部門)	(青森)
	30日	前払金保証制度要望活動	(六戸・七戸)
12月	1日	前払金保証制度要望活動	(東北・おいらせ)
	3日	全国土木施工管理技士会セミナー	(青森)
	4日	若年建設従事者指導者育成研修会(技術(能)系)	(青森)
	7日	(財)建設業振興基金業務説明会(意見交換会)	(東京)
	9~11日	建設技術者講習会(経験年数別)	(青森)
	11日	漁場・地球環境再生協議会(元氣回復事業)	(青森)
	14日	全国土木施工管理技士会事務担当職員会議	(東京)
	15日	建設業人材確保・育成推進協議会北海道・東北ブロック会議	(仙台)
	17日	ワンストップ事業関係情報交換会	(仙台)
	18日	建設工事現場における交通誘導に関する安全講習会	(青森)
	21日	青森県循環型社会形成推進委員会	(青森)
1月	12~15日	雇用管理セミナー	(青森・むつ・八戸・弘前)
	14日	建設業と地域の元氣回復助成事業に係るヒアリング調査	(青森)
	20日	監理技術者講習(研修センター)	(青森)
	20~22日	建設技術者講習会(経験年数別)	(青森)
	21日	グリーンニューディール・つがる協議会(元氣回復事業)	(森田)
2月	2日	漁場・地球環境再生協議会(元氣回復事業)	(青森)
	8日~9日	メタノール利活用推進協議会視察(元氣回復事業)	(長崎)

- 2月17日 監理技術者講習(研修センター) (青森)
- 23日 青森県雇用安定創出対策本部 (青森)
- 24日 東北土木施工管理技士会連合会・東北地方整備局意見交換会 (仙台)
- 25日 公益法人会計基準に基づく決算セミナー (仙台)
- 26日 建設業と地域の元気回復助成事業に係る書類審査 (青森)
- 26日 青森県建設産業人材確保・育成推進協議会 (青森)
- 3月 2日 前払金保証制度要望活動 (三戸)
- 2日~5日 建設労働者雇用安定支援事業に係る集団相談会 (青森)
- 8日 青森県建設雇用改善推進委員会 (青森)
- 9日 メタノール利活用推進協議会(元気回復事業) (鱒ヶ沢)
- 10日 監理技術者講習(研修センター) (青森)
- 12日 建設雇用改善推進対策会議 (青森)
- 14日 建設業経理士検定試験(1級・2級)
建設業経理事務士検定試験(3・4級) (青森)
- 17日 建退共運営委員会・評議員会 (東京)
- 17日 元気回復助成事業に係る中間報告会(情報交換会) (仙台)
- 18日 建設業福祉共済団都道府県建設業協会会長会 (東京)
- 18日 建設業振興基金参与会 (東京)
- 18日 全国建設産業団体連合会総務・広報・構造改善対策委員会合同会議 (東京)
- 19日 建退共支部事務局長会議 (東京)
- 24日 市町村前払促進委員会 (青森)
- 29日 建設業振興基金全国協議会 (東京)

委員会・青年部会関係

- 5月30日 東北地方整備局青森河川国道事務所岩木川防災演習 (五所川原)
- 6月 4日 東北建設業青年会会長会議・役員会 (仙台)
- 23日 東北建設業青年会総会 (仙台)
- 7月14日 東北建設業青年会役員会・会長会議 (仙台)
- 28日 「全国建設青年の日」統一行動 (県内)
- 8月22日 東北建設業青年会会長会議・役員会 (仙台)
- 9月17日 東北建設業青年会役員会・東北地方整備局意見交換会 (仙台)
- 10月30日 東北建設業青年会会長会議並びに役員会 (仙台)
- 12月 1日 全国建設青年会議全国大会 (東京)
- 2月10日 青年部会社会貢献活動(松島小学校防犯マップ贈呈式) (五所川原)

- 2月22日 東北建設業協青年会会長会議並びに役員会 (東京)
 22日 全国建設青年会議 (東京)

本部・支部事務局関係

- 4月 1日 本部事務局辞令交付 (青森)
 1日 「地域建設業経営強化融資事業」融資契約調印式 (青森)
 9日 「新入社員・若手社員スキルアップセミナー」(他3回) (青森)
 15日 支部事務局長会議 (青森)
 5月 7日 本部事務局辞令交付 (青森)
 6月22日 支部長協議(中弘支部)
 8月18～19日 各支部事務局との協議 (県内)
 9月15日 支部本部職員研修会 (青森)
 10月14～27日 公益法人制度改革に伴う支部の調査
 11月 6日 公益法人制度改革に伴う支部の調査
 1月19日 支部事務局長会議 (青森)

その他行事

- 4月 2日 「春の全国交通安全運動」県民総決起大会 (青森)
 20日 春の安全・安心まちづくり推進大会 (青森)
 5月19日 日本塗装工業会青森県支部通常総会 (青森)
 21日 青森県警備業協会理事会・通常総会 (青森)
 22日 青森県管工事業協会通常総会 (青森)
 22日 青森県農村整備建設協会・青森県漁港建設協会通常総会 (青森)
 22日 青森県住宅リフォーム推進協議会通常総会 (青森)
 25日 青森空港国際化促進協議会総会 (青森)
 25日 青森空港振興会議総会 (青森)
 25日 青森県新幹線建設促進期成会定時総会 (青森)
 25日 青森県鉄道整備促進期成会定時総会 (青森)
 26日 青森県新幹線開業対策推進本部総会 (青森)
 26日 「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会通常総会 (青森)
 27日 青森県建築士会通常総会 (青森)
 27日 青森県交通対策協議会委員会 (青森)
 27日 青森県産業廃棄物協会通常総会 (青森)
 27日 青森県電気工事業工業組合通常総会 (青森)
 28日 青森県建築士事務所協会通常総会 (青森)

5月28日	青少年育成青森県民会議総会	(青森)
29日	青森県交通安全協会定例理事会・評議員会	(青森)
6月1日	八戸工大土木フォーラム実行委員会	(八戸)
5日	七里長浜港利用促進協議会役員会・総会	(鱒ヶ沢)
10日	青森県電気活用協議会役員会・定時総会	(青森)
11日	青森県人づくり戦略推進会議	(青森)
25日	八戸工業高等専門学校産業技術振興会役員会	(八戸)
27日	八戸工業大学土木系教育に関する研修会	(八戸)
29日	八戸工業大学教育研究後援会役員会	(八戸)
30日	青森県 ITER 計画推進会議理事会・通常総会	(青森)
30日	青森県電業協会通常総会	(青森)
7月1日	青森県労働協会通常総会	(青森)
8日	青森県解体工事業協会通常総会	(青森)
23日	青森県道路利用者会議役員会・定時総会	(青森)
23日	青森県道路整備促進期成同盟会	(青森)
28日	青森県住宅リフォーム推進協議会すまい職人きらりアップ委員会	(青森)
30日	あおもり循環型社会推進協議会役員会・通常総会	(青森)
8月21日	生コンクリート工業組合品質監査会議	(青森)
25日	東経連フォーラム in 青森および会員懇談会	(青森)
9月1日	東北地方整備局総合防災訓練(延期)	
7日	暴力団追放・銃器薬物根絶青森県民大会	(弘前)
8～9日	生コンクリート工業組合品質管理監査	(青森県内)
14日	もったいない・あおもり県民運動推進会議設立総会	(青森)
17日	秋の全国交通安全運動県民総決起大会	(青森)
30日	青森県漁港漁場整備事業研修会	(青森)
10月9日	青森県警備業協会理事会	(青森)
22日	青森県風力発電関連産業創出連絡会議	(青森)
11月10日	交通安全青森県民大会	(青森)
21日	青森土木フォーラム	(青森)
24日	高規格道路建設及び道路整備促進青森県総決起大会	(青森)
12月14日	青森県生コンクリート品質管理監査会議	(青森)
15日	すまい職人きらりアップ委員会	(青森)
1月22日	青森県警備業協会理事会	(青森)
28日	暴力追放青森県民会議臨時理事会・臨時総会	(青森)
28日	青森県松くい虫被害対策推進連絡協議会	(青森)

- | | | | |
|----|-----|-----------------------------|------|
| 2月 | 9日 | すまい職人きらりアップ委員会 | (青森) |
| | 12日 | 交通安全功労等全国表彰受賞祝賀会 | (青森) |
| | 16日 | すまい職人きらりアップセミナー | (青森) |
| | 17日 | 新公益法人制度に関する説明会 | (青森) |
| 3月 | 8日 | 青森商工会議所建設部会総会、部会交流会 | (青森) |
| | 11日 | 青森県生コンクリート工業組合技術研修センター運営委員会 | (青森) |
| | 29日 | 暴力追放青森県民会議 | (青森) |
| | 30日 | 青森県生コンクリート品質管理監査会議・監査合格証交付式 | (青森) |

平成 21 年度決算書に対する注記

当協会の平成 21 年度の決算における、特記事項は以下のとおりです。

当協会は平成 25 年 11 月までを対応期間として施行されました公益法人改革への対応準備として、21 年度から新公益法人会計基準に準拠したシステムを導入しており、従来の議案書と活動区分や帳票の様式や科目名・記載順などが変更されております。決算書類には前年度実績との比較ができない項目があります。

新基準会計においては、支出に関して事業費に相当するものと管理費に相当するものに区分けする必要があるため、支出の確定に基づき職員の従事割合に基づいて配賦処理を行いました。配賦割合は職員費（給料手当、諸手当、福利厚生費）については 75.0%を、その他の需用費（事務所費、旅費交通費、通信運搬費、備品費、消耗品費、図書費、委託費、会館使用料）については 69.8%として、事業費にそれぞれ支出科目を追加して振替処理いたしました。

当協会では年度中途より以下の事業を開始し、特別会計により収支を管理しました。一般会計と一体に決算処理するため、期末残高を事業別会計収支として計上いたしました。

- ・ 転貸融資事業特別会計（「地域建設業経営強化融資事業」）
- ・ 助成事業管理者特別会計（「建設業と地域の元気回復助成事業」）
（メタノール利活用推進事業、漁場・地球環境再生事業、グリーンニューディールつがる事業、青森薬箱プロジェクト）
- ・ A S P 事業特別会計
- ・ 各支部で受託した公共施設防災パトロール業務

青森県建設会館改修工事については、年度中に助成金交付が決定し工事が完了したことから、収入・支出とも補正予算に計上いたしました。なお、支出は事業活動と投資活動に区分いたしました。

本年度、各支部に対する支部実施事業助成金支出を行い、予備費から事業費に計上し不足分については補正予算により計上いたしました。

第 1 次補正予算案について 22 年 3 月開催の理事会でご承認いただき、追加の処理のために必要な 2 次補正予算を 5 月開催の理事会でご承認いただき対応いたしました。本議案には補正後の予算額を記載しております。